

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公開番号】特開2005-247602(P2005-247602A)

【公開日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-036

【出願番号】特願2004-56745(P2004-56745)

【国際特許分類】

C 0 3 C 8/04 (2006.01)

G 1 1 B 5/127 (2006.01)

【F I】

C 0 3 C 8/04

G 1 1 B 5/127 W

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

酸化物基準の質量%表示で  $B_{i_2}O_3$  : 20 ~ 70%、 $B_2O_3$  : 5 ~ 25%、 $SiO_2$  : 1 ~ 23%、 $ZnO$  : 0.5 ~ 20%、 $Al_2O_3$  : 0.1 ~ 10%、 $SrO$  : 0 ~ 30%、 $CaO$  : 0 ~ 35%、 $TiO_2$  : 0 ~ 5%、 $La_2O_3$  : 0 ~ 5%、 $Y_2O_3$  : 0 ~ 5%、 $Fe_2O_3$  : 0 ~ 5%、 $MnO$  : 0 ~ 5%、 $R_2O$  : 0 ~ 5% ( $R_2O$  :  $Li_2O$ 、 $Na_2O$ 、 $K_2O$ 、 $Cs_2O$ から選ばれる少なくとも一種) の組成を有することを特徴とするガラス組成物。

【請求項2】

酸化物基準の質量%表示で  $B_{i_2}O_3$  : 40 ~ 55%、 $B_2O_3$  : 10 ~ 20%、 $SiO_2$  : 1 ~ 10%、 $ZnO$  : 5 ~ 18%、 $Al_2O_3$  : 0.5 ~ 5%、 $SrO$  : 10 ~ 20%、 $CaO$  : 0 ~ 10%、 $TiO_2$  : 0 ~ 2%、 $La_2O_3$  : 0 ~ 2%、 $Y_2O_3$  : 0 ~ 2%、 $Fe_2O_3$  : 0 ~ 2%、 $MnO$  : 0 ~ 2%、 $R_2O$  : 0 ~ 3% ( $R_2O$  :  $Li_2O$ 、 $Na_2O$ 、 $K_2O$ 、 $Cs_2O$ から選ばれる少なくとも一種) の組成を有することを特徴とするガラス組成物。

【請求項3】

熱膨張係数が  $8.5 \sim 14.0 \times 10^{-7}$  / であることを特徴とする請求項1または請求項2に記載のガラス組成物。

【請求項4】

一対の磁気コア半体の少なくとも一方に巻線溝を設け、前記一対の磁気コアがギャップ部を有して接合された磁気ヘッドであって、前記一対の磁気コア半体が請求項1から請求項3のいずれかの請求項に記載のガラス組成物で接合されていることを特徴とする磁気ヘッド。

【請求項5】

請求項1から請求項3のいずれかの請求項に記載のガラス組成物で被覆、または封止されていることを特徴とする表示装置。

【請求項6】

前記表示装置がプラズマディスプレイであることを特徴とする請求項5に記載の表示装

置。